

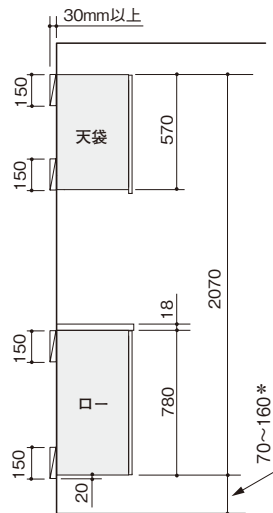
施工のポイント(単位:mm)

※玄関用収納コンボリアは壁面へのねじ固定(4本又は6本/ユニット)が必要です。

施工前の準備

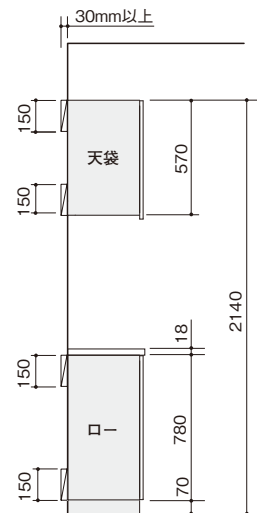
■壁面に固定用木棧を図の高さに取り付け。※推奨木棧:30×150mm以上

〈吊り施工の場合〉……ランナーが必要です



*は参考寸法です。
カウンター高さを配慮して
設置高さを決めてください。

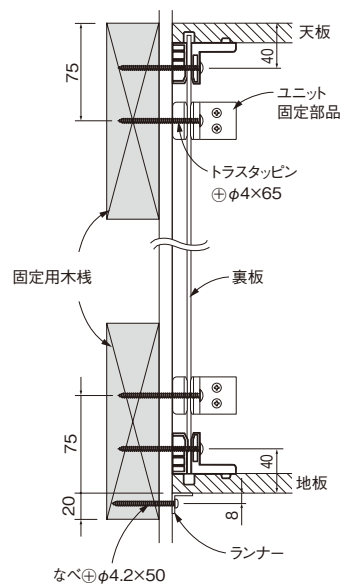
〈据え置き施工の場合〉……台輪が必要です



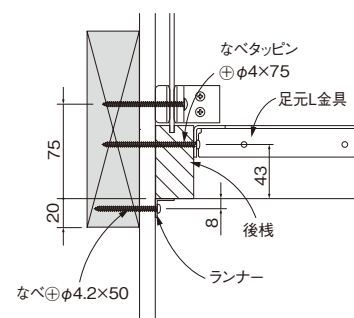
注意 ユニット固定部品を用いて壁面固定をします。
固定用木棧の取り付け位置は必ず守ってください。

①オーダー仕様の場合

上部のユニット固定部品のねじ取付位置は、天板から75mmになります。高さが変更になる場合は、その位置に固定用木棧を取り付けてください。



〈オープンフロアユニット下部〉



内装ドア

簡易遮音・
気密ドア開き戸・
引戸

ふすま

収納用
建具

折れ戸

玄関用
収納

コンボリア

クローク
シェルフ多用途
収納

造作部材

窓枠セット
ジャストカット
オーダー床下収納
ユニット①オーダー
(特注品)設計・
施工編

玄関用収納 コンポリア

2025年2月新商品カタログ
ベリティス商品編

商品 P.142~201
Uオーダー P.196~199
Uオーダー発注書 P.200

新商品

内装ドア

簡易遮音・
気密ドア

開き戸・
引戸

ふすま

収納用
建具

折れ戸

玄関用 収納

コンポリア

クローク
シェルフ

多用途
収納

造作部材

窓枠セット
ジャストカット
オーダー

床下収納
ユニット

施工のポイント(単位:mm)

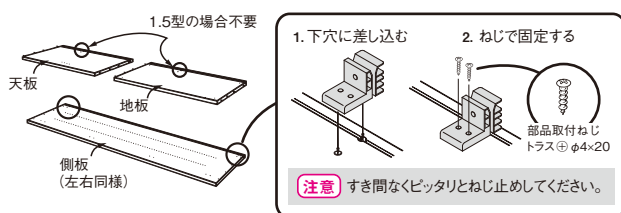
組み立て方 ※図はトールの場合

- 注意**
- 天袋ユニットは組み立て時の上下に十分注意してください。
 - 組み立て時は、梱包材(ダンボール)を敷き、商品を傷つけないようにしてください。

1. ユニット固定部品の取り付け

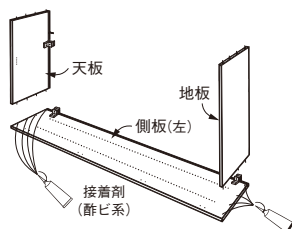
- 注意** 必ず最初にユニット固定部品を取り付けてください。
(裏板の差し込み後は、取り付けできません。)

天板・地板・側板に付属のユニット固定部品を取り付ける。



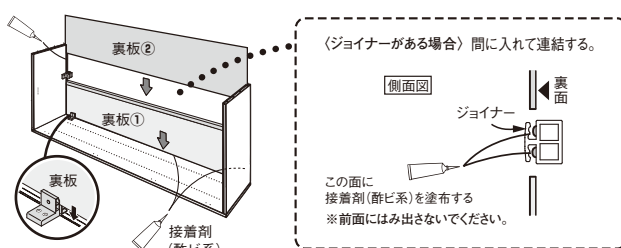
2. 天板・地板・側板(左)の組み立て

ダボ穴に付属の接着剤を塗布し、
組み立てる。



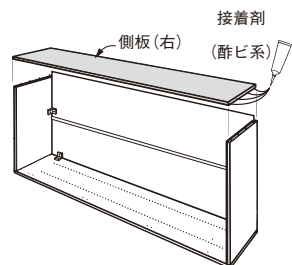
3. 裏板の差し込み

天板・地板・側板の溝に付属の接着剤を塗布し、裏板を固定部品・溝に差し込む。



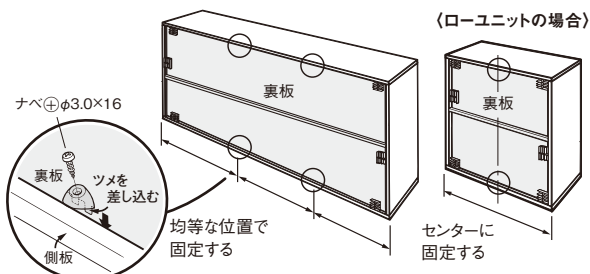
4. 側板(右)の取り付け

側板のダボ穴・溝に付属の接着剤を
塗布し、取り付ける。



5. 裏板の固定

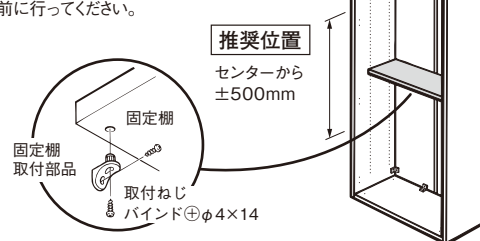
裏板取り付け部品のツメを裏板と側板の溝に差し込み、ねじ止める。



6. 固定棚の取り付け(トールユニットの場合)

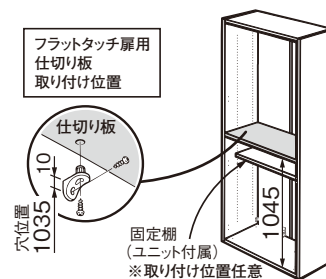
ユニット中央付近のダボ穴を利用して固定棚を取り付ける。
(施工時にユニットの直角が保たれません。)

※据え付けの前に行ってください。



フラットタッチ扉用仕切り板(別品番)を取り付ける場合

取付部品で、仕切り板を
右記の位置に取り付ける。



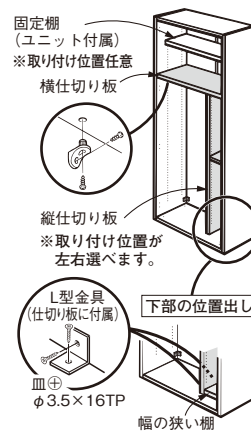
傘・コート収納用仕切り板(別品番)を取り付ける場合

1. 縦・横仕切り板をT型にダボ
組みする。

2. 取り付け部品で横仕切り板
をユニットに固定する。

3. 幅の狭い棚を使って、
縦仕切り板下部を位置
出し、L型金具で固定する。
(前後2か所)

4. 幅の狭い棚とユニット
付属の固定棚を取り
付け部品で固定する。



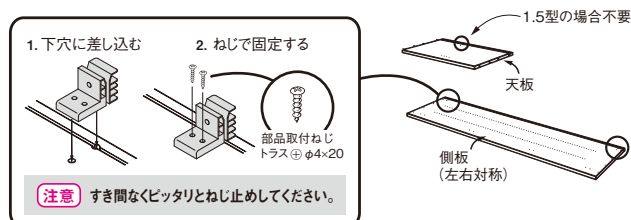
※仕切り板がある場合、固定棚の取り付け位置は任意です。

オープンフロアユニットの場合

1. ユニット固定部品の取り付け

- 注意** 必ず最初にユニット固定部品を取り付けてください。
(裏板の差し込み後は、取り付けできません。)

天板・側板に付属のユニット固定部品を取り付ける。



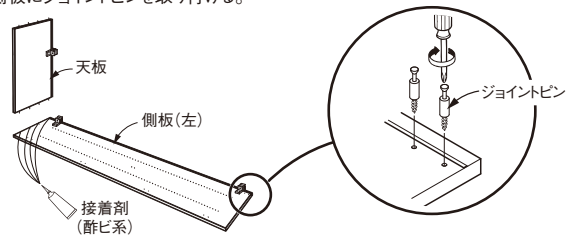
Uオーダー
(特注品)

設計・
施工編

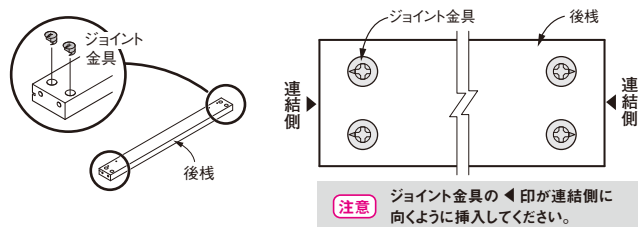
施工のポイント(単位:mm)

2. 天板・後棧・側板(左)の組み立て

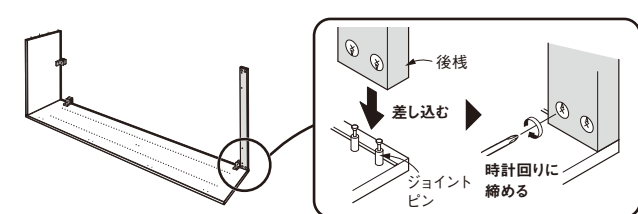
- 1.ダボ穴に付属の接着剤を塗布し、組み立てる。
- 2.側板にジョイントピンを取り付ける。



- 3.後棧にジョイント金具を挿入する。



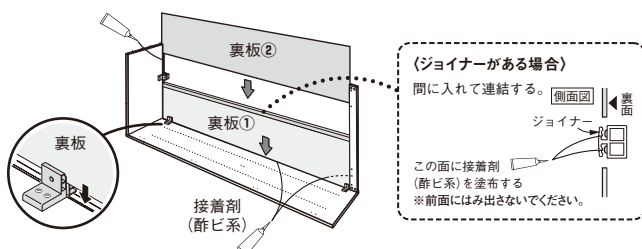
- 4.ジョイントピンに後棧を差し込み、ジョイント金具を締める。



注意 ジョイント金具はドライバーが止まるまで確実に回して締めてください。
固定不良によりユニットが変形・破損し、けがをするおそれがあります。

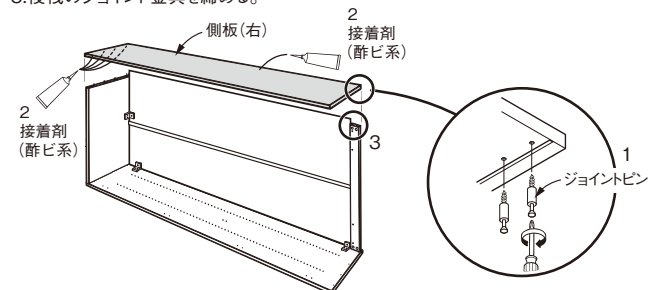
3. 裏板の差し込み

天板・後棧・側板の溝に付属の接着剤を塗布し、裏板を固定部品・溝に差し込む。



4. 側板(右)の取り付け

- 1.側板に、ジョイントピンを取り付ける。
- 2.側板のダボ穴・溝に付属の接着剤を塗布し、取り付ける。
- 3.後棧のジョイント金具を締める。



5. 裏板の固定

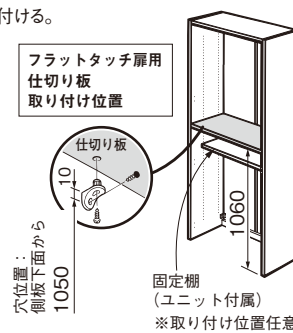
施工方法は96ページを参照ください。

6. 固定棚の取り付け

施工方法は96ページを参照ください。※据え付けの前に行ってください。

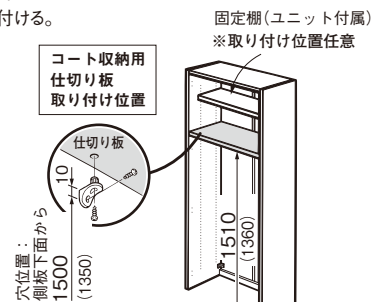
〈フラットタッチ扉用仕切り板(別品番)を取り付ける場合〉

取付部品で、仕切り板を
右記の位置に取り付ける。



〈コート収納用仕切り板(別品番)を取り付ける場合〉

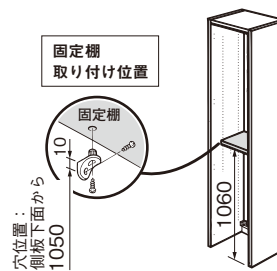
取付部品で、仕切り板を
右記の位置に取り付ける。



※ () 寸法は高さオーダーでH1770以下にした場合

〈パイプ(別品番)を取り付ける場合(拿取納)〉

取付部品で、固定棚を
右記の位置に取り付ける。



新商品

内装ドア

簡易遮音・

気密ドア

開き戸・

引戸

ふすま

収納用

建具

折れ戸

玄関用

収納

コンボリア

クローク

シェルフ

多用途

収納

造作部材

窓枠セット

ジャストカット

オーダー

床下収納

ユニット

Uオーダー

(特注品)

設計・

施工編

施工のポイント(単位:mm)

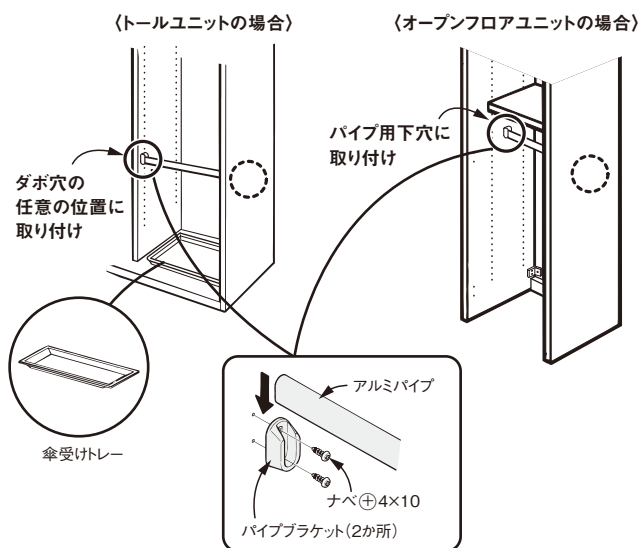
機能パーツの取り付け

■傘収納

- 1.パイプブラケットを側板のダボ穴またはパイプ用下穴に取り付ける。
- 2.アルミパイプを上からはめ込む。

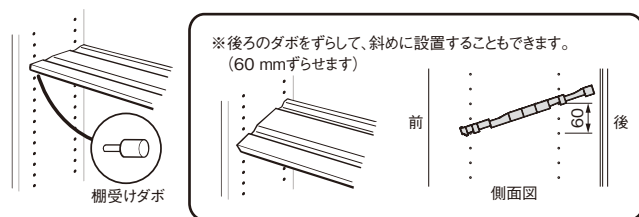
〈トールユニットの場合〉

- 3.地板の上に傘受けトレイを設置する。



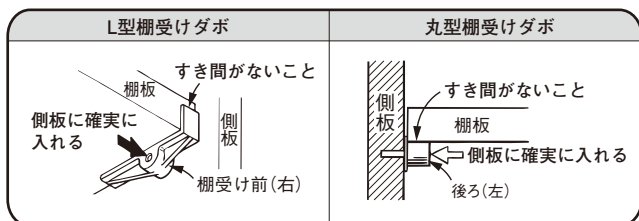
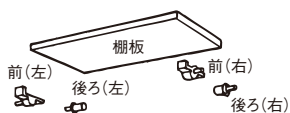
■樹脂製棚板

側板(または仕切り板)のダボ穴に棚受けダボを差し込んで棚板をのせる。



■木製棚板

L型棚受けダボを前側、丸型棚受けダボを後ろ側に取り付け、棚板をのせる。



⚠注意

- ❗ 必ず守る
- 棚受けのユニットへの取り付け、棚のセットは確実にを行う
取り付けに不備があると、棚板が落下して、けがをするおそれがあります。

扉について

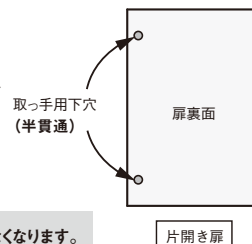
■半貫通の取っ手穴加工

〈天袋用扉・ローユニット用扉で半貫通の穴が2つの場合〉

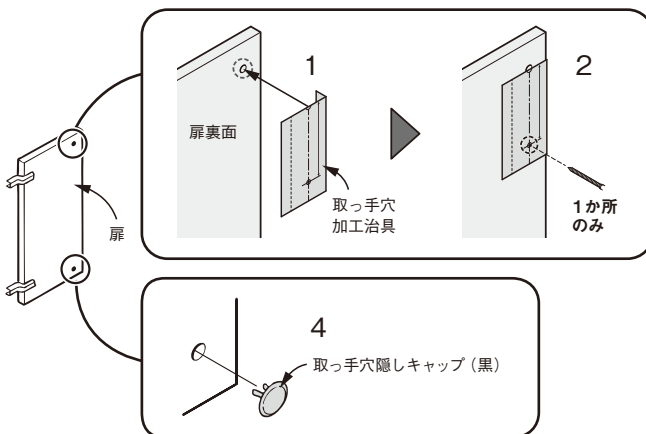
下記は、左右兼用扉のため、取っ手穴が半貫通となっています。扉の勝手を確定後、使用する位置に対してのみ貫通加工を行い、取っ手を取り付けてください。

- 1.5型取っ手あり天袋用扉(框扉)
- 1.5型ローユニット用扉(框扉)

注意 誤った穴を貫通すると扉が使用できなくなります。

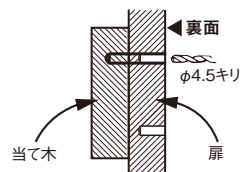


1. 扉の吊元を確認し、扉の加工穴に取っ手穴加工治具の半円を合わせる。
2. $\phi 4.5$ で下穴を1か所あける。
3. 半貫通穴を貫通させる。
4. 使わない扉の下穴に、取っ手穴隠しキャップを取り付ける。



取っ手穴貫通のしかた

※扉表面に当て木をして、バリ発生を防いでください。

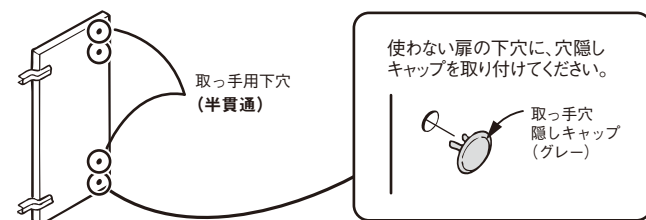


〈天袋用扉・ローユニット用扉で半貫通の穴が4つの場合〉

下記は、左右兼用扉のため、取っ手穴が半貫通となっています。扉の勝手を確定後、使用する位置に対してのみ貫通加工を行い、取っ手を取り付けてください。

- 1.5型取っ手あり天袋用扉(フラット扉)
- 1.5型ローユニット用扉(フラット扉)

注意 誤った穴を貫通すると扉が使用できなくなります。



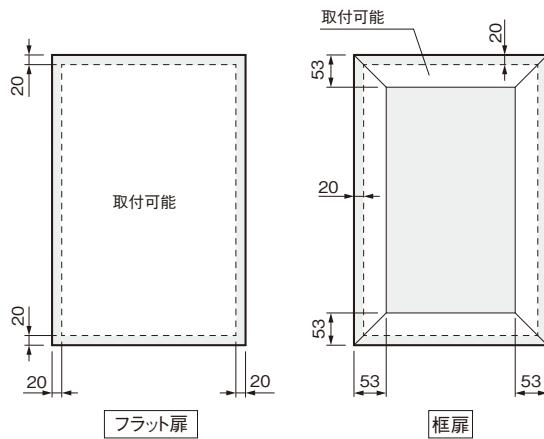
施工のポイント(単位:mm)

市販の取っ手を取り付ける場合

取っ手は下記の位置(□部)に取り付け可能です。
※扉端から20mmの位置および框部以外には取り付けできません。

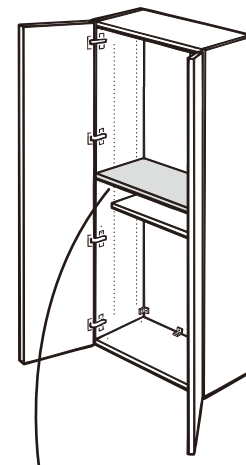
手配した取っ手のねじ径に合わせて下穴をあけ、取っ手を取り付けてください。

注意 扉裏面よりねじが飛び出さないように、
扉の厚み(18mm)に適したねじを現場手配してください。

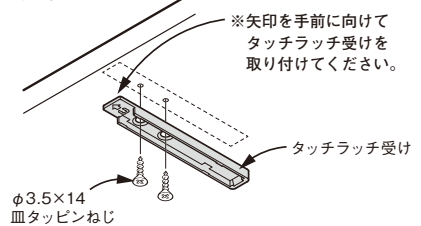


■フラットタッチ扉 タッチラッチの取り付け

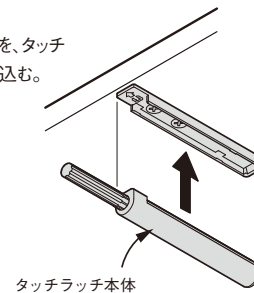
〈ツールユニットの場合〉



1. 下穴の位置にタッチラッチ受けを
ねじ固定する。



2. タッチラッチ本体を、タッチ
ラッチ受けにはめ込む。



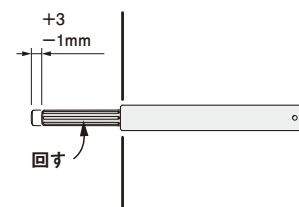
■扉の調整

扉の状態	調整方法
例1 	 ①(A)を緩めると扉が矢印の 方向に動く。
例2 	 ②(B)を緩めて丁番本体部を前後に 移動させる。 ※調整後、必ずしっかりと 締めてください。
例3 	 ①扉1枚の全ての(C)を緩める。 ②扉を上下に動かして高さを合わせる。 ③全ての(C)を締め直す。

注意 扉の調整後必ず2~3回開閉し、扉が確実に閉まっていることを確認してください。

タッチラッチの動作確認をしてください。

- 2~3回開閉し、タッチラッチの「閉⇄開」動作がスムーズに働くか確認してください。
- すき間が大きすぎたり、扉が「閉」の状態にならない場合は、前後調整をしてください。



玄関用収納 コンポリア

2025年2月新商品カタログ
ベリティス商品編

商品 P.142~201
Uオーダー P.196~199
Uオーダー発注書 P.200

新商品

内装ドア

簡易遮音・
気密ドア

開き戸・
引戸

ふすま

収納用
建具

折れ戸

玄関用
収納

コンポリア

クローク
シェルフ

多用途
収納

造作部材

窓枠セット
ジャストカット
オーダー

床下収納
ユニット

Uオーダー
(特注品)

設計・
施工編

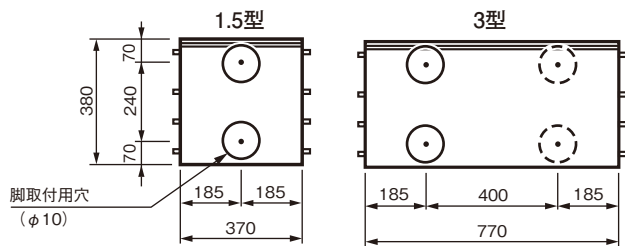
施工のポイント(単位:mm)

脚を取り付ける場合

1. 地板の下穴加工

任意の位置で、地板にφ10の下穴をあける。

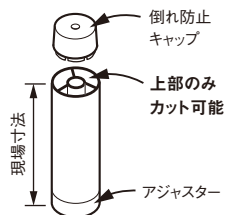
参考寸法



※框にユニットの一部がのる場合は、脚の取り付けは2本になります。

2. アルミ脚の取り付け(別途手配)

1. 脚の長さを設置寸法に合わせてカットする。

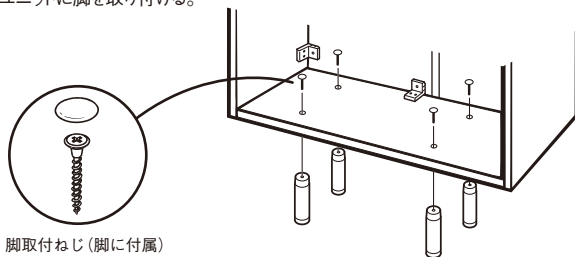


※最小100mmまでカット可能

注意

- アジャスター部を残してください。
- 斜めにカットしないでください。
- 必ず倒れ防止キャップを取り付けてください。

2. ユニットに脚を取り付ける。



オプションの取り付け

■耐震ロック(オプション)の取り付け

⚠注意



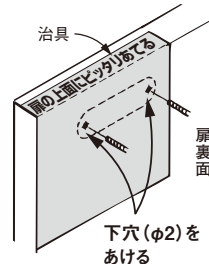
必ず守る

ユニットが水平に取り付いているか確認する
水平に取り付けられていないと、耐震ロックが正しく作動せず、
けがをするおそれがあります。

■扉側

※扉をユニットに取り付ける前に、
取り付けの方が作業がしやすくなります。

1. 天袋・トールユニット扉の
裏面上部に下穴をあける。

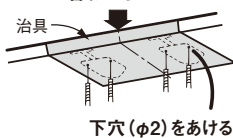


2. 耐震ロック(受け)を取り付ける。

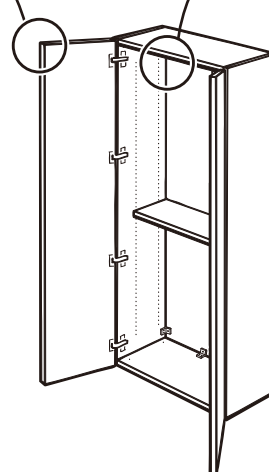
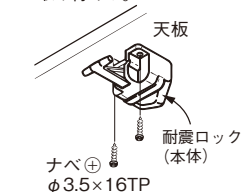


■本体側

1. ユニットの天板に
下穴をあける。
ユニットのセンター
に合わせる



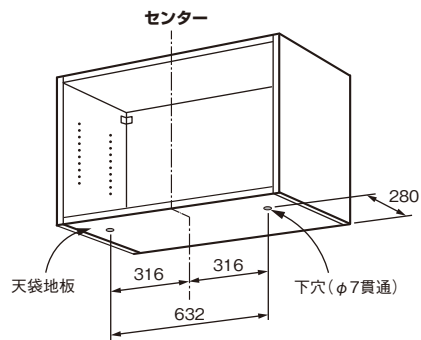
2. 耐震ロック(本体)を
取り付ける。



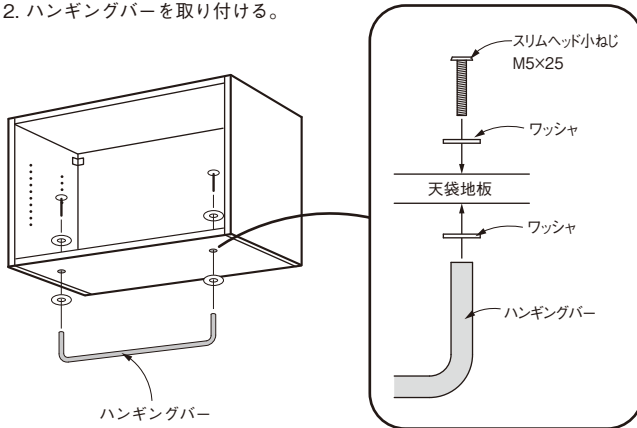
施工のポイント(単位:mm)

■ハンギングバー(オプション)の取り付け

1. 天袋地板に下穴をあける。

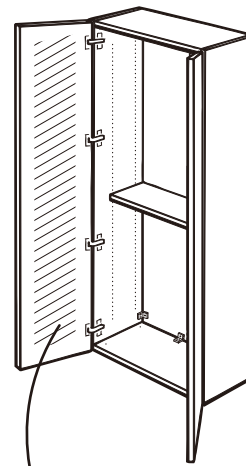


2. ハンギングバーを取り付ける。



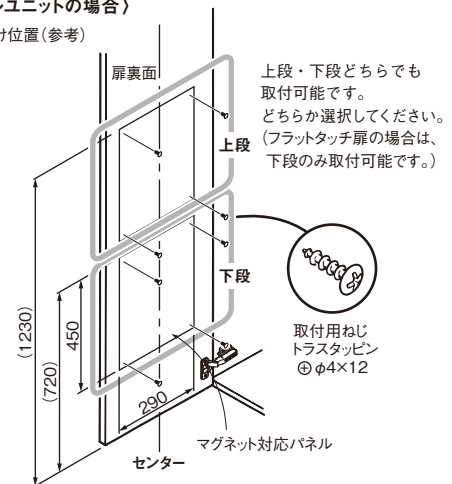
■マグネット対応パネル(オプション)の取り付け

扉裏面に指定のねじで取り付ける。

注意 必ず水平に取り付けてください。

〈トールユニットの場合〉

取り付け位置(参考)



〈ローユニットの場合〉

取り付け位置(参考)

